



平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年4月7日

上場会社名 株式会社島忠 上場取引所 東
 コード番号 8184 URL http://shimachu.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下視希夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 折本和也 TEL 048(623)7711
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月11日 配当支払開始予定日 平成29年5月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年8月期第2四半期の業績（平成28年9月1日～平成29年2月28日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	69,879	△7.2	3,355	△30.2	5,180	△15.2	3,638	△11.8
28年8月期第2四半期	75,278	△2.2	4,810	22.2	6,111	0.2	4,125	6.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	76.34	-
28年8月期第2四半期	85.15	-

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	239,299	198,937	83.1
28年8月期	242,854	201,231	82.9

（参考）自己資本 29年8月期第2四半期 198,937百万円 28年8月期 201,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	-	35.00	-	45.00	80.00
29年8月期	-	40.00	-	-	-
29年8月期（予想）	-	-	-	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年8月期の業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,872	△5.4	8,528	△16.8	11,731	△7.8	8,087	△9.4	170.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

通期業績予想の修正については、本日（平成29年4月7日）公表いたしました「平成29年8月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期2Q	51,389,104株	28年8月期	51,389,104株
② 期末自己株式数	29年8月期2Q	4,335,483株	28年8月期	2,941,841株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期2Q	47,660,439株	28年8月期2Q	48,448,209株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1.（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和等を背景に緩やかな回復への動きが見られたものの、海外経済の不確実性の高まりや不安定な株式相場、為替動向などにより景気の先行きは不透明な状況にあり、消費マインドは低調に推移いたしました。

小売業界におきましては、商品カテゴリーの重複化による企業間競争は激しさを増し、業種業態を問わず出店競争や価格競争により企業収益は圧迫されており、当社を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況のもと当社は、様々な販売企画を行いながら地域のお客様に支持される店作りを実行するため、感謝と奉仕の精神から「サービス日本一を目指す」を基本方針とした営業活動を継続して行ってまいりました。

店舗の状況といたしましては、平成28年12月にホームズ所沢店（埼玉県所沢市）を開店いたしました。これにより平成29年2月末現在の店舗総数は59店舗となりました。

売上高につきましては、698億7千9百万円（前年同四半期比7.2%減）、売上総利益は229億7千7百万円（前年同四半期比7.8%減）、売上総利益率は32.9%（前年同四半期比0.2ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費は196億2千2百万円（前年同四半期比2.4%減）、対売上高比率は28.1%（前年同四半期比1.4ポイント増）となりました。

この結果、営業利益は33億5千5百万円（前年同四半期比30.2%減）、経常利益は51億8千万円（前年同四半期比15.2%減）、四半期純利益は36億3千8百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

セグメントの業績のうち報告セグメントについては、次のとおりであります。

家具・ホームファッション用品は、売上高203億6千7百万円（前年同四半期比11.8%減）で全体の売上高に占める構成比は29.1%、売上総利益は87億5千6百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

ホームセンター用品は、売上高495億1千1百万円（前年同四半期比5.1%減）で全体の売上高に占める構成比は70.9%、売上総利益は142億2千万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期会計期間末の資産の部は、2,392億9千9百万円となり、前事業年度末に比べ35億5千4百万円減少しました。これは主に現金及び預金が20億9千7百万円、土地が17億7千1百万円減少したことによるものです。

負債の部は、403億6千2百万円となり、前事業年度末に比べ12億6千1百万円減少しました。これは主に流動負債「その他」に含まれる未払金が14億6千7百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、1,989億3千7百万円となり、前事業年度末に比べ22億9千3百万円減少しました。これは主に、自己株式が40億1百万円、利益剰余金が14億5千8百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末より16億5千7百万円減少し、221億4千5百万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益53億4千3百万円、減価償却費23億6百万円、未払金の減少額14億7千2百万円、法人税等の支払額18億8千5百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は43億2百万円（前年同期は53億5千5百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出25億6千万円、有形固定資産の売却による収入19億4千万円、投資有価証券の売却による収入4億6百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は1億5千万円（前年同期は37億4千3百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式の取得による支出40億1百万円、配当金の支払額21億7千7百万円により、財務活動の結果使用した資金は61億7千9百万円（前年同期は19億3千8百万円の支出）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月7日に公表いたしました業績予想について修正を行っております。具体的な内容につきましては、本日（平成29年4月7日）公表の「平成29年8月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,667	15,570
受取手形及び売掛金	5,416	4,922
有価証券	11,435	12,022
商品及び製品	20,884	21,242
その他	6,027	5,031
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	61,428	58,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,190	67,856
土地	92,098	90,327
その他（純額）	3,572	1,917
有形固定資産合計	161,861	160,101
無形固定資産	324	319
投資その他の資産		
その他	19,445	20,296
貸倒引当金	△206	△206
投資その他の資産合計	19,239	20,090
固定資産合計	181,425	180,511
資産合計	242,854	239,299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,253	22,782
未払法人税等	2,065	1,950
賞与引当金	642	592
その他	7,755	5,343
流動負債合計	32,717	30,668
固定負債		
退職給付引当金	3,301	3,611
資産除去債務	2,410	2,926
その他	3,194	3,156
固定負債合計	8,906	9,693
負債合計	41,623	40,362

（単位：百万円）

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	19,344	19,344
利益剰余金	175,268	176,727
自己株式	△9,042	△13,044
株主資本合計	202,104	199,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△873	△623
評価・換算差額等合計	△873	△623
純資産合計	201,231	198,937
負債純資産合計	242,854	239,299

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 （自平成27年9月1日 至平成28年2月29日）	当第2四半期累計期間 （自平成28年9月1日 至平成29年2月28日）
売上高	75,278	69,879
売上原価	50,364	46,901
売上総利益	24,913	22,977
販売費及び一般管理費	20,103	19,622
営業利益	4,810	3,355
営業外収益		
受取利息	136	21
受取配当金	22	7
受取賃貸料	2,504	2,359
その他	355	735
営業外収益合計	3,019	3,124
営業外費用		
賃貸費用	1,375	1,262
その他	342	36
営業外費用合計	1,718	1,299
経常利益	6,111	5,180
特別利益		
固定資産売却益	—	168
特別利益合計	—	168
特別損失		
固定資産除売却損	19	4
特別損失合計	19	4
税引前四半期純利益	6,092	5,343
法人税等	1,966	1,705
四半期純利益	4,125	3,638

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	6,092	5,343
減価償却費	2,427	2,306
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△159	△29
為替差損益（△は益）	292	△370
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△168
売上債権の増減額（△は増加）	565	494
たな卸資産の増減額（△は増加）	27	△358
長期前払費用の増減額（△は増加）	—	△1,005
仕入債務の増減額（△は減少）	△306	529
未払金の増減額（△は減少）	△1,240	△1,472
その他	483	888
小計	8,182	6,158
利息及び配当金の受取額	159	29
法人税等の支払額	△2,986	△1,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,355	4,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,366	△2,560
有形固定資産の売却による収入	—	1,940
投資有価証券の売却による収入	—	406
差入保証金の差入による支出	△448	△201
差入保証金の回収による収入	184	294
その他	△112	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,743	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2	△4,001
配当金の支払額	△1,935	△2,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,938	△6,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△292	370
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△619	△1,657
現金及び現金同等物の期首残高	20,876	23,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,257	22,145

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	家具・ ホームファッション用品	ホームセンター用品	計
売上高			
外部顧客への売上高	23,097	52,180	75,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	23,097	52,180	75,278
セグメント利益	9,957	14,956	24,913

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	家具・ ホームファッション用品	ホームセンター用品	計
売上高			
外部顧客への売上高	20,367	49,511	69,879
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,367	49,511	69,879
セグメント利益	8,756	14,220	22,977

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。